

学科 学年	D2	科目 分類	数学A I Mathematics A I	講義 必修	前期 2 単位	学習教育 目標 B	担当	佐藤志保 SATO shiho
概 要	1 年次に引き続き 1 変数関数の微分、積分とその応用を扱う。							
科目目標 (到達目標)	1 変数関数の極大、極小、最大最小問題の理解。また、初等関数の原始関数を求められるようになること。							
教科書 器材等	微分と積分 1、同問題集(大日本図書)、高専の数学 2 問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	定期試験 80%、レポートおよび講義中の課題を 20% で評価する。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1 回		平均値の定理						
第 2 回		関数の増減と極値						
第 3 回		関数の最大・最小						
第 4 回		演習						
第 5 回		接線と法線						
第 6 回		演習						
第 7 回		不定形の極限						
第 8 回		演習						
第 9 回		高次導関数						
第 10 回		曲線の凹凸						
第 11 回		演習						
第 12 回		媒介変数表示と微分法						
第 13 回		演習						
第 14 回		速度と加速度						
第 15 回	×	前期中間試験						
第 16 回		定積分						
第 17 回		不定積分						
第 18 回		定積分と不定積分の関係						
第 19 回		定積分の計算						
第 20 回		演習						
第 21 回		不定積分の置換積分						
第 22 回		演習						
第 23 回		定積分の置換積分						
第 24 回		演習						
第 25 回		部分積分						
第 26 回		演習						
第 27 回		分数関数、無理関数の積分						
第 28 回		三角関数の積分						
第 29 回		演習						
第 30 回	×	前期期末試験						
オフィス アワー	授業、会議のない日の放課後 17 時まで。							
授業アンケ ートへの対応	ゆつくりと、はっきりしゃべるように心がける。							
備 考								
更新履歴	2007・3・15 新規							